

特集「洗つを洗つ」

水とキヨメ きれいときたない 波平恵美子 2

涙はなぜ美しいのか 風土、宗教、文明から見る水の浄化力と浄めの文化 山折哲雄 4

風呂はハレ空間だった 現代の入浴スタイルはいつから始まったのだろう 大場 修 12

土地の文化を知らない洗濯機は作れない 洗濯機の商品開発と消費者のライフスタイル 寺田 實 18

白もの信仰と清潔な香り 技術者が語る洗剤の戦後文化史 藤井徹也 22

清潔感を洗う 編集部 26

シャボンの香り 松本 葉 30

水の文化発想実践取材 水環境ネット東北 おとなが楽しまないと子どもに伝わらない 32

水の文化書誌 雨乞い 古賀邦雄 40

インフォーメーション 42

# 洗あらうを洗あらう

ものを洗つとき

なにをもって「きれいになった」と思うのでしょうか。

「洗つ」の歴史をたどってみよう。

わたしたちの持っている清潔感の誕生は

意外と新しいことに気づかされます。

服を洗う、食器を洗う、身体を洗う、心を洗う。

清潔と感ずる源はどこにあるのか。

どのようにわたしたちの暮らしを変えてきたのか。

「きれいさ」「常識を」「洗つ」という行為をとおして解剖してみました。